

## ■リードマーク埋込式の施工方法例(石タイル等への設置)



床面の汚れ、油面、水分等を除去してください。設置場所の形状と位置を確認し、警告・誘導(警告)表示間の直線を出す為に墨出しをおこなって直線をだしてください。

①下地処理と設置場所の墨出し



位置の確認が完了したら墨出しのラインを確認しつつ、埋め込み工法用専用ゲージプレート(別途)を使用し穴あけ位置を決定してください。

※専用ゲージを使用しない場合は、JIS規格等による警告・誘導表示の基準を参考に穴あけ位置を決定してください。

②穴あけ位置の確認



設置場所の材質に対応した電動ドリルを使用し、ゲージでしるしをつけていた部分に穴をあけてください。

穴の口径は8mmですが、設置面が石質によって割れ易い場合は4mm径のドリルで先行孔をあけると施工し易くなります。また孔の深さは18mm~21mm程度あけてください。

※連続して穴をあけるとドリル刃が熱を帯びて切れが悪くなったり、破損し易くなるため、水等でこまめに冷やしてください。

④ドリルによる穴あけ



穴の内部周囲の石粉等を掃除機等で十分に除去してください。

その後専用接着剤MX-100(別途)を使用し、穴の中と周囲に適量を充填してください。はみ出した場合は、エタノールやアルコールで速やかに拭きとってください。

接着剤が硬化する前にリードマークを固定してください。床が平滑でない場合等は硬化するまで重石等で固定してください。(硬化時間は設置状況によりますが、10分程度。)

④接着剤による警告・誘導表示の固定



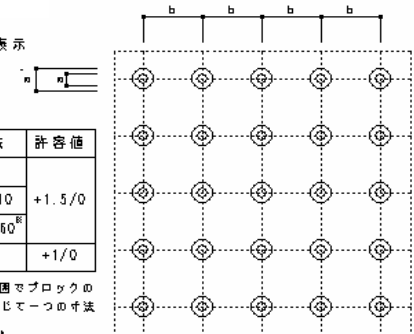
⑤完成・養生

### ●施工上の注意

- ①平滑な床でご使用ください。激しい床の凹凸や目違いのある床には使用できません。目地が6mm以上ある場合はモルタル等で埋めてください
- ②施工温度は-5°C~+60度程度です。(温度により接着剤の硬化時間も変わりますのでご注意ください。)
- ③穴に接着剤を注入する場合は、床の底が抜けていないかを確認し、接着剤が垂れ落ちない様、注意してください。
- ④石の施工がバサモルタル施工の場合は接着剤の垂れ落ちに特に注意してください。

### ■配置例

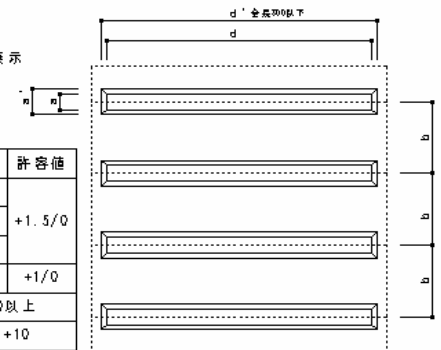
警告表示



記号	寸法	許容値
a	12	
a'	a+10	+1.5/0
b	55~60 <sup>R</sup>	
厚み	5	+1/0

※この寸法範囲でブロックの大きさに応じて一つの寸法を設ける。

誘導表示



記号	寸法	許容値
a	17	
a'	a+10	+1.5/0
b	75	
厚み	5	+1/0
d	270以上	
d'	d+10	



環境づくりのパイオニア  
三ツシヤ工業株式会社